



南中のかぜ

学校便り第10号

令和7年11月21日

<http://www.koganei.ed.jp/~minamijs/>
tel:042-383-1105・fax:042-382-0405

小金井市立南中学校
小金井市貫井南町1-26-1



真実を見極める（小金井市読書感想文コンクール、優秀作品から）

校長 金井 誠

去る11月13日（木）、小金井市読書感想文コンクールの表彰式が行われました。本校からは、優秀賞に選ばれた3年_____さんが出席し、小金井市教育委員会・大熊雅士教育長から賞状が手渡されました。_____さんの感想文は、感じたこと、考えたこと、新たな視点を得たことなどが率直に記され、読む者を深い思考に導くものです。とても読み応えのある作品ですので、多くの人に読んでもらいたい、考えてもらいたいと思い、_____さんにも快諾してもらえたので、その感想文全文を紹介します。

「自分自身に問いかける」（小手鞠るい著「ある晴れた夏の朝」感想文）

3年 _____

「原爆を肯定する。」今までの私にはない考えだった。「原爆」と聞いたら戦争だけを思い浮かべていたし、悪い印象しか抱いていなかった。また、これからの日本には全く関係ないことだとも思っていた。しかし「ある晴れた夏の朝」を読み、私の考えは変化した。

この本は、広島と長崎に落とされた原子爆弾について、ディベートを行う話だ。アメリカの八人の高校生が原爆肯定派と否定派に分かれる。主人公のメイは日系アメリカ人であり、この討論会に原爆否定派として出場をする。肯定派が「原爆投下が必要悪であった」と主張する一方で、否定派は「原爆は罪のない人々を殺したもの」だと訴える。視点は違うが、いずれも世界平和を望んでいる。メイを含む八人の、ディベートの回数を重ねるごとに変化する原爆への思いが描かれている。話の中では肯定派と否定派のどちらかが勝つが、原爆投下に正解も不正解もないと私は思う。

もし私が原爆肯定派か否定派かと聞かれたら、真っ先に後者を選んでいただろう。もちろん肯定派が原爆や戦争を無条件で肯定しているわけではないことはわかっている。それでも私は否定派を選ぶだろう。しかし、私にはメイたちのように、原爆を否定する明確な理由がないことに気がついた。原爆投下がたくさんの人の命を奪ったことは知っている。戦争は二度と起こしてはいけないことだとも知っている。なぜならそう教わったからだ。私自身、それらについてしっかり考えたことがあっただろうか。なんとなく私は目をそむけ続けていた。戦争中の日本の行動は正しく、原爆は悪いものであったと信じたかった。しかし、ディベートが進んでいくに連れて日本の本当の姿も見えてきた。

太平洋戦争は日本の真珠湾攻撃から始まった。その後たくさんの戦いを経て、アメリカが広島と長崎に原爆を落とした。そして日本がポツダム宣言を受諾し戦争は終わる。私はこれを知識として知っていたが、深く考えたことはなかった。だから、日本に原爆が落とされていなかったときのことを考えたことがない。もしそうなっていたら「太平洋戦争は終わらず、おそらく何百万人以上の日本人とアメリカ人が命を落とすだろう。」と肯定派は主張している。これを読んだとき私は恥ずかしさを覚えた。自分は結果しか見ておらず、安易な考えで原爆を否定していたからだ。また、もう一つ大きな理由がある。それは死者の数の少なさで肯定派に納得しそうになっている自分がいたことだ。もちろん亡くなった人は少ないほうが、日本全体で見たら大切なことかもしれない。だが、死者が多かろうが少なかろうが遺族の方からすると「戦争で亡くなった」という事実は変わらない。そのことに気がつけたのは私にも似たような経験があるからだ。小学生のとき、ずっとかわいがっていたハムスターが亡くなった。「え、ハムスター？」と思う人もいるかもしれない。しかし、そのとき私は涙もでないくらい悲しかったのを覚

えている。人間ではないし体は小さいけれど、私の大切な家族であり、一つの命だ。だから戦争や原爆で家族を失った人からすれば、死者の数などただの数字であり、心の傷の深さは変わらないと思う。原爆肯定派はこれ以外にも様々な視点から意見を述べている。私は彼らに反対しているわけではない。何でも数値で物事を捉えてしまう私自身を含めた人間に、もう一度それは本当に正しいものかを考えてほしいと思うだけだ。

今年で終戦から八十年が経つ。今の日本は戦争をしていたと思えないほど平和だ。それと同時に戦争の悲惨な記憶が薄れつつある。知ることは辛いけれど知らないといけない日本の歴史。テストに出るからといって、戦争に関する言葉を暗記するだけの人。数値に気を取られて本当に大切なを見失う人も多いと思う。私もそうだった。しかし、その考えのまま時間が経てば、おそらく日本は同じ過ちを繰り返す。そんな日本で、そんな世界でいいのか。起こってしまったことはもう変えられない。だからこそ、今までの教訓を胸に未来を良い方向に変えること。それが私たちの使命なのではないか。

私は原爆を完全な悪だと思っていた。しかし、四回にわたるメイたちのディベートにうなずき、反論しながら私も参加しているうちに、原爆に対する考えが変わった。否定派の言う通り、原爆は世界に必要ない。だが、もし原爆がなかったら戦争は終わっていなかったかもしれない。原爆は平和を守るために存在していたともいえる。だから、今の私は平和と悪は表裏一体だと考える。戦争も原爆もこの世に必要ない。ただ、平和を創造するために悪が必要になるときはあると思う。そんな悪さえもなくすことができたとき、私たちは本当の意味で平和を築けたといえるだろう。この本は、私に目をそむけ続けていた事実と本当の平和とは何かを教えてくれた。

_____さんの作文の中で私が特に注目したのは、「原爆投下がたくさんの人の命を奪ったことは知っている。戦争は二度と起こしてはいけないことだと知っている。なぜならそう教わったからだ。」、そして「もう一度それは本当に正しいものかを考えてほしいと思うだけだ。」というところです。学校で教わったから正しい、ニュースで伝えられているから正しい、多くの人が言っているから正しい…このように純粋に、まっすぐに受け止めることに、正直なところ、私は危険なにおいを感じています。誹謗（ひぼう）中傷、フェイクニュース、情報操作…、それは本当に正しいのか、明確な根拠を基に、自分の頭でしっかりと考えることが、今、特に必要とされていると思います。そのように思う中、_____さんの作文からは心の葛藤が伝わってきます。深く、深く考えた様子が容易に想像できます。このように自分の頭でしっかりと考え、それを言葉に、文字にできる中学生がいることを、一人の大人として誇りに思います。

ところで、苦情を受けたときやトラブルが生じたとき、「一方の意見だけを聞いて判断するな。」とよく言われます。視点を変えれば捉え方も変わります。人によって感じ方や考え方方が異なるのは当たり前のことです。つまり、自分が感じているのと同じように周りの人も感じているとは限らないのです。中学生の皆さんには、このことを踏まえて、独りよがりにならないように気を付けながら、そして他者の意見にも耳を傾けながら、自分の頭でしっかりと考えて自分の意見や思いを他に伝えられるようになってほしいと思います。真実を見極める目をもってほしいと思います。

人の気持ちを受け止めること、受容すること、寄り添うことはとても大切です。しかし、残念で怖いことですが、世の中には意図的に人々の考えを自分にとって都合のよい方向に導いていくとする人たちがいます。無意識にそのようにしている人もいます。気持ちを受け止めることは必要ですが、そのまま受容してしまってよいのか、その方向性は正しいのか、修正すべきことはないのか、他の方法はないか…、真実や本当に必要なことを見極めるには、事実と伝聞、推測をきちんと分けて整理して、事実をいくつも積み重ね、それを基に自分の頭で考えていくことが大切です。このような取組の一つ一つが、悪をなくしたり平和を築いたりしていくことに、結局はつながっていくのだと思います。

南中生の活躍

大会名	成績	氏名（学年）
小金井市読書感想文コンクール	優秀賞	(3年)
	入選	(1年)
		(1年)
		(2年)
		(2年)
		(3年)

☆校外のボランティアに積極的に参加した生徒☆

(2年) 22回

☆ボランティア活動紹介☆

11月2日（日）のこがねい防災フェスタや、11月8日（土）の光明第二保育園の運動会では、南中の生徒がボランティアとして参加し、それぞれの場で活躍しました。地域のために進んで活動に参加し、活動している姿が素晴らしいです。

また、有志のボランティア会では、12月初旬に赤い羽根共同募金を行う予定です。校内にとどまらず、放課後に武蔵小金井駅まで出向いて募金活動を行います。国際理解部では、ユニセフ募金を行う予定です。

12月行事予定

日	曜	行 事	日	曜	行 事
1	月	1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット 新入生保護者説明会 なんちゅー未来塾	16	火	安全指導 1年旧クロムブック回収
2	火	朝礼 1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット	17	水	避難訓練 なんちゅー未来塾
3	水	1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット なんちゅー未来塾	18	木	学校保健委員会 セーフティ教室 中央委員会 3年旧クロムブック回収
4	木	1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット	19	金	
5	金	1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット	20	土	
6	土		21	日	
7	日		22	月	
8	月	1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット	23	火	⑥カット
9	火	1・2年教育相談 3年進路面談 午後カット	24	水	大掃除
10	水	学年会 午後カット 2年職場体験事前指導 なんちゅー未来塾	25	木	第2学期終業式
11	木	2年職場体験事前訪問	26	金	冬季休業日（始）～1月7日（水）まで
12	金	専門委員会 PTA全学年委員会	27	土	
13	土		28	日	
14	日	スピーキングテスト（予備日）	29	月	
15	月	私立高入試相談（始） 3年⑥カット 2年旧クロムブック回収	30	火	
			31	水	

第4次 明日の小金井教育プラン（案） に対する皆さんの意見を募集しています【パブリックコメント】

配布・閲覧場所

市立小・中学校、市役所第二庁舎（庶務課、広報秘書課広聴係、情報公開コーナー）、図書館本館、公民館各館、総合体育館、栗山公園健康運動センター、東小金井駅開設記念会館、婦人会館及び保健センターでご覧いただけます。ほか、市ホームページでも公開します。

提出期間・方法

令和7年11月20日（木）～令和7年12月19日（金）、住所・氏名・計画名「第4次明日の小金井教育プラン」を明記し、庶務課へ直接または郵送（必着）、ファックスで送付してください。また、市ホームページに掲載する専用フォームでも送付できます。

問合先・送付先

〒184-8504 住所不要
小金井市教育委員会 学校教育部 庶務課
電話：042-387-9872
FAX：042-383-1133



市ホームページ



パブリックコメント回答フォーム

本校では、期間内、職員室前廊下の机の上に「第4次 明日の小金井教育プラン（案）」を設置しております。

なお、「小金井市教育大綱（案）」についても、同様にパブリックコメントを募集しております。詳細は別紙にてご案内いたします。

小金井市教育大綱（案）に対する意見募集

市では、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第1条の3に規定される、小金井市における教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱として、小金井市教育大綱（案）を策定しましたので、小金井市市民参加条例第15条の規定に基づき、市民の皆さんのお意見を募集します。

- 施策名称 小金井市教育大綱（案）
○対象 市内に在住・在勤・在学する方、市内に事務所もしくは事業所を有する法人又はその他の団体
○提示期間 令和7年11月20日（木）～同年12月19日（金）
○検討結果の公表等

令和8年2月（予定）。寄せられた意見等は、原則として住所・氏名等を除き公開させていただきます。また、意見等に対する個別的な回答は行いません。検討を終えたときは、意見等の内容並びに検討結果及びその理由を公表します。

なお、個人情報、第三者を誹謗中傷するもの又は施策案に直接関係のないものに対しては、公表しない場合があります。

また、賛否の結論だけを示したものについては、検討結果、市の考え方等は示しません。

- 配布場所等 小金井市教育大綱（案）は、企画政策課（市役所本庁舎2階）、市役所第二庁舎1階受付、情報公開コーナー（同6階）、庶務課（同7階）、公民館各館、婦人会館、総合体育館、図書館（本館）、保健センター、東小金井駅開設記念会館（マロンホール）で御覧いただけるほか、市ホームページでも公開しています。

※ 各施設の開館日は、事前にお問い合わせください。

- 提出方法 住所（事務所の所在地）・氏名（団体名及び代表者名）・施策名称を明記し、直接、郵送（必着）、FAX又は専用フォームで次の提出先へ送付してください。

なお、匿名での提出はできません。

また、原則として日本語によることとしますが、他の言語での提出の際は、日本語訳も送付してください。

用紙は、市ホームページからもダウンロードが可能です。

- 提出・問合せ先 小金井市企画財政部企画政策課企画政策係
〒184-8504 小金井市本町6-6-3
(電話) 042-387-9800
(FAX) 042-387-1224
(電子メール) s010199@koganei-shi.jp

